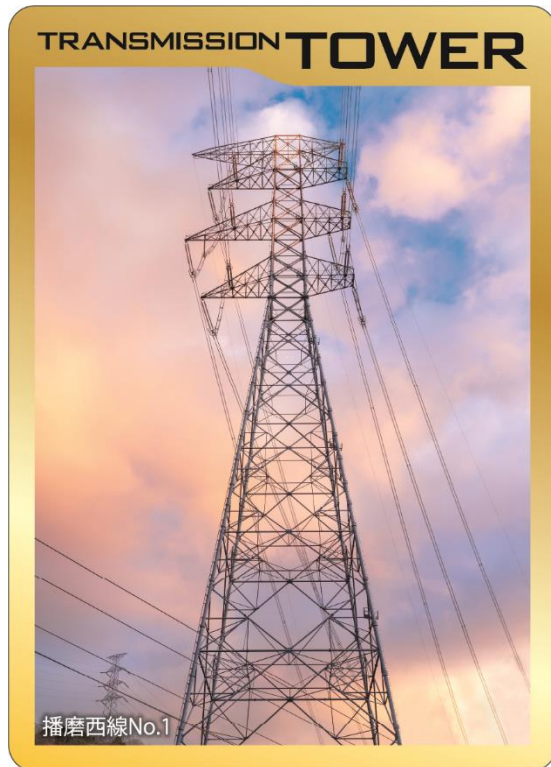



【カード表面】

【カード裏面】


TRANSMISSION TOWER


線路名: はりまにしせん 播磨西線
 電圧: 50万ボルト
 高さ: 149.9メートル
 重量: 326.8トン

建設年(竣工): 1997(平成9)年
 所在地: 兵庫県相生市
 鉄塔型: 耐張(四角型)
 電線線種: TACSR810×4導體
 回線: 2回線

鉄塔プロフィール: 広域融通の強化を図るため建設された50万ボルトの送電線で、愛称は“はりにし”。関西の西端にある超高圧変電所に隣接しており、周辺の大型鉄塔を従えるように堂々とそびえ立つ姿はまさに圧巻。当社一の高さを誇る大型鉄塔で、その高さは「通天閣」のおよそ1.5倍の約150mにおよぶスケールであり、見る者を圧倒する。

 ↑位置情報

 **関西電力送配電** 【撮影:藤原嘉騎】

 一般社団法人 送電線建設技術研究会 関西支部 **No 0000**



TRANSMISSION TOWER

線路名: あなんきほくちくくりゅうかんせん 阿南紀北直流幹線
 電圧: 直流±50万ボルト
※運用±25万ボルト

高さ: 96.0メートル
 重量: 70.0トン

建設年(竣工): 1999(平成11)年
 所在地: 和歌山県日高郡
 鉄塔型: 耐張(四角型)
 電線線種: [本線]TACSR810×4導體
[帰線]TACSR610×2導體

回線: 双極2回線※運用双極1回線

鉄塔プロフィール: 徳島県阿南市にある火力発電所でつくられた電気の一部を送るために建設された国内初の±50万ボルト設計の直流送電線。支持物と電線を絶縁する“がいし”は、国内最大規模の直径460mm。その連長はおよそ14mと当社最大規模を誇る直流懸垂がいしである。

 ↑位置情報

 **関西電力送配電** 【撮影:藤原嘉騎】

 一般社団法人 送電線建設技術研究会 関西支部 **No 0000**

【カード表面】

【カード裏面】


TRANSMISSION TOWER


線路名: しんほくりくかんせん 新北陸幹線
 電圧: 27万5千ボルト
 高さ: 31.5メートル
 重量: 11.5トン

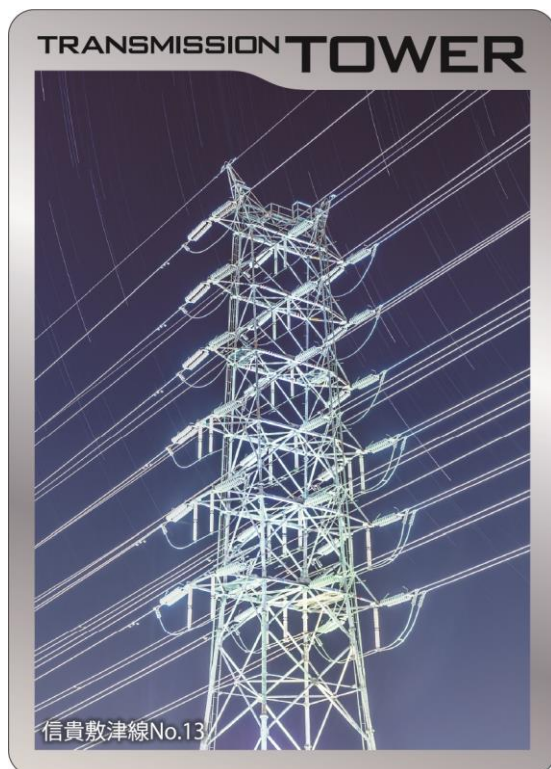
建設年(竣工): 1951(昭和26)年 ↑位置情報

所在地: 滋賀県愛知郡
 鉄塔型: 耐張(四角型)捻架
 電線線種: ACSR410
 回線: 2回線

鉄塔プロフィール: 黒部川第四発電所をはじめ多くの水力発電所がある黒部川水系でつくられた電気を関西地域へ送るため、27万5千ボルト設計で建設された全国初の超高圧送電線。富山県から大阪府までの長距離を結ぶ場合、交流送電では電力損失が大きくなることから、損失を軽減させるため電線の位置を入れ替える“捻架(ねんか)”鉄塔を採用している。

 関西電力送配電 [撮影:別所隆弘]

 送電線建設技術研究会 関西支部 No 0000




TRANSMISSION TOWER


線路名: しぎしまつせん 信貴敷津線
 電圧: 15万4千ボルト
 高さ: 44.0メートル
 重量: 26.3トン

建設年(竣工): 1979(昭和54)年 ↑位置情報

所在地: 大阪府八尾市
 鉄塔型: 耐張(矩形型)
 電線線種: STACSR1160ほか
 回線: 6回線

鉄塔プロフィール: 大阪府東部から大阪市南部を結ぶ15万4千ボルトの送電線。山上の変電所から市街地へと電気を送っている。商業施設の敷地内に建つ鉄塔は当社で初めてライトアップされたものであり、鉄塔を1本の大きな樹に見立て、四季折々、時間帯によって変化させている姿が美しい。商業施設のランドマークとして親しまれている。

 関西電力送配電 [撮影:別所隆弘]

 送電線建設技術研究会 関西支部 No 0000